

2023年度 第2回 藤沢市立御所見中学校 学校運営協議会会議録

開催日時：2023年7月10日（月）15時00分～

場 所：藤沢市立御所見中学校 第1音楽室

司 会：鈴木 委員 記 録：加藤 委員

【学校運営協議会委員（コミュニティースクール）】

1	会長 大井 秀幸	ふれあい共有ネットワーク（三者連携）代表
2	鈴木 達也	青少年育成協力会（青少協）代表
3	吉田 康行	御所見中学校 PTA 会長
4	加藤 宏章	元御所見中学校 PTA 会長
5	森 祐一（欠席）	元御所見中学校 PTA 会長
6	角田 宗夫（欠席）	元御所見中学校評議員・元藤沢市立中学校長
7	鈴木 理恵（欠席）	元御所見中学校評議員
8	佐藤 孝子	御所見地区民生委員
9	須藤 和久	御所見市民センター長
10	坂本 哲也	CSW 市社会福祉協議会
11	副会長 中岡 正春	御所見中学校 校長
12	荒船 友樹	御所見中学校 教頭
13	小川 直美	御所見中学校 地域担当 総括教諭

1. 開会あいさつ（大井会長）

今年度第2回のコミスクよろしく申し上げます。コロナが明けて3年間のブランクがありますが、地域が子育てに参加する機会を取り戻していきたいと思っております。また、部活動地域移行における協力も大変ではありますが、地域が学校に入る良い機会と考えますので積極的に関わっていかれたらと思っております。

2. 御所見中学校近況報告（中岡校長）

2泊3日の修学旅行、無事に終わることができました。長欠の生徒も参加してくれたので、たいへんうれしく思います。しかし、スマホを無断で持ち込んだ生徒が20名ほど発覚しました。起きたことは、残念ではありますが、問題をクリアにしたことで、心にわだかまりを残さずこれからの生活につなげてほしいと思っております。

夏休みから半年ほどかけて、西側生徒用トイレの改修工事がはじまります。

3. 【協議1】コミスク運営計画への提案

中岡校長：コミスク運営計画について3つの項目について重点を置いて取り組んでいきたい。

(1) コミスクに対する学校・地域のニーズ把握

*保護者アンケートによる要望（期待していること）調査

(2) コミスクと学校・地域との親密化

*「生徒」⇒生徒会にコミスクとの協同企画・運営をミッションとして提示

*「教職員」⇒「魅力ある教育課程」の実現に向けた協同企画の実現

*地域活動の活用・参加

〔御所見市民センター・ふれ共・青少協・おやじの会・少年の森・・・他〕

(3) コミスク協議案件の具現化

*御所見中 コミスク運営について ～コミスク3校開催を見据えて～

*御所見中 新しいPTAの在り方について

*御所見中「部活動地域移行」の取り組みについて

(第2回 御所見中コミスク 別紙資料より)

吉田委員：庭園整備をPTAと「おやじの会」が一緒にやるのは良いと思います。

大井会長：正門前の庭園はPTAが造ったもの。その後の手入れは、PTAが地元の植木屋さんをお願いしている。「おやじの会」について少し話させてください。おやじの会がある学校と、無い学校があります。15年ほど前、当時の佐々木教育長に依頼を受けて立ち上げた。おやじの会初代代表は私（大井会長）で、1年目にスノコを作りました。2年目からは校舎内のペンキ塗りを行いました。

鈴野委員：現在、おやじの会は組織化されていない。ライングループがあり、卒業生の親も残っています。

坂本委員：その当時、どれぐらいの人がおやじの会に参加していたのですか？

大井会長：そうですね。スノコ作成の時は30人ぐらいで、朝からやりました。当時、昼などは学校で用意してくれていました。学校に負担をかけていましたね。

中岡校長：都合のつく時に都合のいい時間で参加してもらうかたちでできればと思います。

吉田委員：実際、今回の体育祭で「参加できる時間に来てください」と保護者に声をかけたら、思いのほか参加人数が集まりましたので。

鈴野委員：地域の団体との融合は良いと思います。

大井会長：日程など地域団体に周知してはどうでしょうか？

佐藤委員：PTA以外の方が学校に入ってくると心配ではないですか？

中岡校長：その点は、青少協や三者連携といった、顔の知った間がらであれば大丈夫だと思います。

鈴野委員：御所見小との合唱コンクールコラボの件はどうですか？

荒船教頭：中学1年生、2年生のリハーサルを見てもらう予定です。

卒業式の歌を一緒にすると（小学6年生と中学3年生）という提案もありました。

大井会長：そうすると、「卒業式に、あの歌を歌ったね」と共通の思い出になって良いですね。

鈴野委員：御所見小学校コミスクの声かけによる、保護者合唱団が実現すると良いですね。

そういえば、「夏祭りに歌う」という話も出ていました。

4.【協議2】学校運営の課題と解決策について

①【安心・安全】スマホの扱いについて

中岡校長：先ほど話題にあげました、スマホの扱いについてお伺いしたいのですが。

実際、中学校だけがスマホ持ち込みの制限をしている状況ですが、一般的な感覚として、どのように感じていますでしょうか。現在は一人一台タブレットが配布され、ほとんどの生徒がスマホを所持して生活しています。SNSでのトラブルや危険性といったことがあります。利便性が高くメリットになることもたいへん多いです。

大井会長：スマホが認められないのは、市で駄目と決めているのですか？ それとも御所見中ですか？

小川委員：御所見中で駄目と決めています。しかし、どうしても必要な場合は、放課後まで学校で預かることで対応しています。

中岡校長：修学旅行については、修学旅行実行委員でも十分時間をかけて話し合いがなされました。

大井会長：色々な価値観があると思います。持ってきて駄目と学校が決めたのなら、そこは説明の仕方によるのではないですか。

荒船教頭：修学旅行の保護者説明会やお便り等を通じて、説明をしてきたのですが…。「親が持たせた」と「子供が持ってきた」だと1対2くらいでしょうか…。我々教員間でも「良しにしても良いのかな」という考えもありました。でも、スマホがあると、どうしてもスマホに気をとられて、景色など見られずにいい思い出が作れないと思います。

鈴野委員：「横浜めぐり」にスマホ無くても面白かったと言っていたので無くても良いと思います。

中岡校長：今後においても、子どもにとって、どうなのかということを中心として考えていきたいと思っています。

大井会長：親と子どもで相談して、子どもたちで決めるというのも良いと思います。

須藤委員：各学校で決めているのですか。持って行って良いと判断した学校もあるのですか？

中岡校長：過去に認めた学校があったと聞いていますが、その時の状況によるところがあります。

吉田委員：中学校は義務教育。中学校はルールを守ることを教える最後のタイミングだと思います。社会に出れば、守らなければならないルールがもっと多くなります。決めたルールを守らせるということが大切だと思います。

②【安心・安全】SNSでのトラブルについて

中岡校長：今やトラブルや問題行動といったことは見えないところで起きています。それはSNSによるトラブルです。

中岡校長：スマホの扱いがやはり未熟です。ネット上では、悪気がなくても、取返しのつかない事になってしまうことがあります。また、トラブルに巻き込まれる危険性も、大げさでなく身近なところに潜んでいます。加害者にも被害者にもなってしまう可能性があります。

家庭での教育が必要になりますが、我々も含め、大人の方がついていけていません…。

坂本委員：道徳などでスマホの指導はありますか？

荒船教頭：はい、あります。中学1年から3年まで指導しています。

吉田委員：中学校に入るとライングループを作る。子どもは大人以上にトラブルが多い。家庭に投げかけてトラブルを防ぎたい。

中岡校長：こういった時にPTAの成人委員会があるといいのかもしれないね。

大井会長：昔もあったと思うが、SNSによって公に出ることが多い。

先生は大変ですね。「正義の反対は別の正義」という時代ですから。

吉田委員：学校の風評につながるので対策をはかりたい。問題が小さいうちに教育を通じて抑止したいですね。

鈴野委員：コミスクを通じて大人に啓発をはかりたいです。青少協にも働きかけたいと思います。

吉田委員：PTAのたよりも掲載してもいいと思います。

大井会長：先生の働き方改革も楽しくなってほしいですね。ぜひ、心に余裕を持てる先生であってほしいです。先生に余裕がなくては、心に余裕のある子どもが育ちませんから。何ごとも心の余裕が大事です。